



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第29号 令和2年9月18日発行

授業参観ありがとうございました

9月16日と17日に授業参観を行いました。感染症対策のために各学級を2つに分けて実施しました。

今年度初めての授業参観ということで、子どもたちは普段よりやや緊張していたように感じました。しかし、そんな中でも学習する姿を見てもらえる喜びがをもち、真剣に学んでいる姿が印象的でした。特に、1年生にとっては小学校に入学して「授業参観」自体が初めてでしたので、いつにもまして張り切って学習に取り組んでいたように思います。

各学級で児童一人ひとりを大切にした授業に取り組んでいます。「わかる・できる」喜びを実感させることも大切にしています。保護者の皆様に日頃の授業の様子をご覧いただけたことをうれしく思います。お忙しい中ご来校いただきまして誠にありがとうございました。

授業研究（3年2組）



9月15日に3年2組で算数科の授業研究を行いました。「大きな数のかけ算のしかたを考えよう」の単元で、 23×3 の計算のしかたを考えました。

前時までに「 20×3 」の計算のしかたを学んでいました。本時は、かけられる数が20のように一の位が0ではない、というところが子どもたちにとっての考えどころでした。

まず、分かっていることを使い、自分の力で考えました。図をかいたり、23を20と3に分けたり、と自分なりの方法で考えました。その後、考えを共有しました。代表児童が自分の解き方をみんなの前で説明しました。どの方法でも「23を20と3に分けて、位ごとにかけ算をして、最後にたすと答えが求められる。」ということになることが理解できました。その後、練習問題を解き、本時の学びが定着していることを実感することができました。

一人ひとりが意欲的に学習に取り組み、「できる」「わかる」喜びを味わうことができました。学習習慣が身に付いていて、しっかりとした学びの態度に感心しました。

授業研究（5年3組）

同じ9月15日に、5年3組でも授業研究を行いました。「図形の角」の単元で多角形の内角の和を簡単に求めるためにはどうしたらよいか、考える学習でした。前時までに「三角形の内角の和は 180° 、四角形の角の大きさの和は2つの三角形に分けて考えて 360° 」ということ学んでいました。本時は、今までの学習を生かして、五角形や六角形など多角形の角の大きさの和をかんたんな方法で求められないか、というめあてでした。

まず、子どもたちは、自分で五角形の内角の和を求めました。図に補助線をかいて三角形3つに分けられること、そしてそのことと「三角形の内角の和は 180° 」という事柄を関連づけて考え、 540° という答えをほとんどの児童が見つけられました。途中で隣の児童と伝え合ったり、全体に伝えたりと、言葉を大切にした学習が進められました。

最後は、七角形や十三角形などの内角の和を求めることに挑戦しました。

高学年らしく意欲的に学習に取り組み、自分の言葉で考え方や答えを伝えることができていて、すばらしいと思いました。



※ 今後も授業研究を積み重ね、子どもたちの学力向上・学習習慣の定着等を目指していきたいと思います。